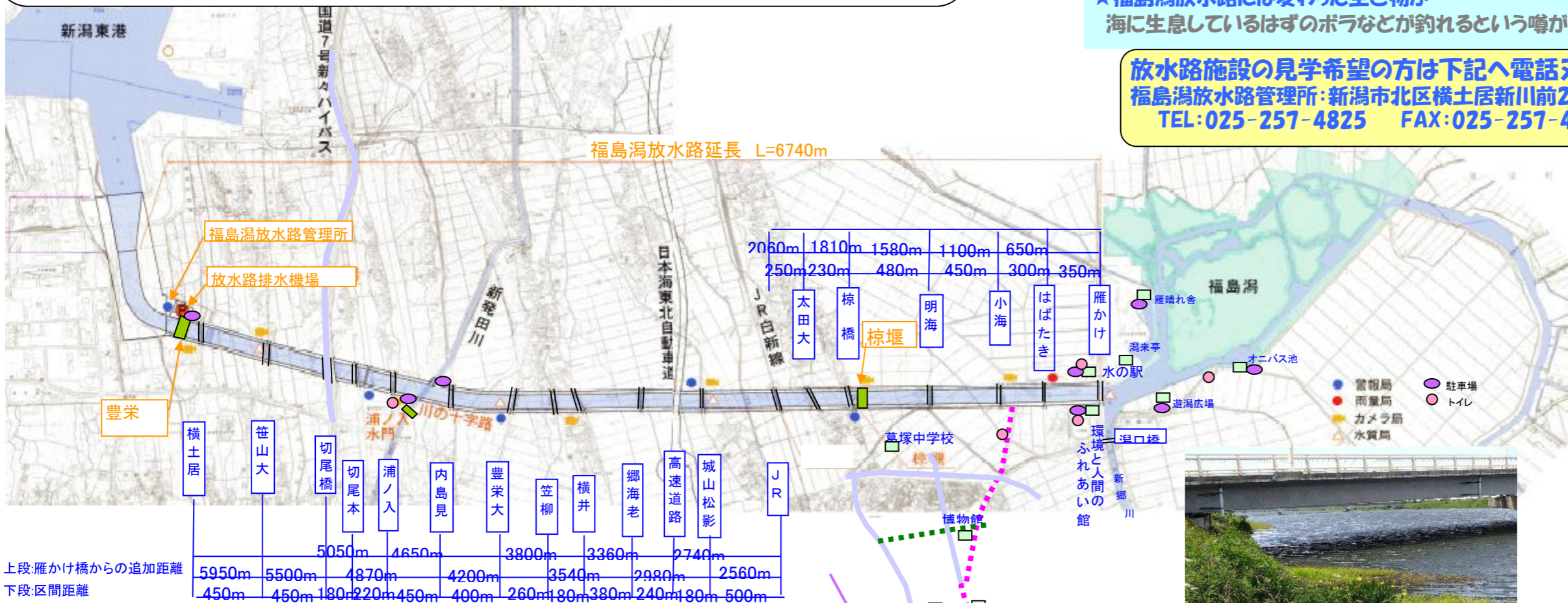


# 福島潟 放水路 散策マップ

## 歩いて見れば **新** 発見

福島潟放水路は、大雨で福島潟の水位が高くなった時に、洪水の一部を福島潟から分水して新潟東港を經由して日本海へ放流するために開削した幅約100m、長さ約6.7kmの人工の河川ですが、周辺を歩くには橋を基準にすれば距離を換算できてすごく便利！  
雁かけ橋から横土居橋までは約6km、往復12km。少し長いかな？と思う人は、途中の橋で折り返しも自由。体力と気分に合わせて歩いてみよう。



潮止堰から椋堰の間は水位も高く、橋からは、まるで湯船にどっぷり浸かって…いい湯だなあ〜…という声が聞こえてきそう。椋堰を過ぎると福島潟の水位と同じになり、半身浴に変わる。



### めったに見られない福島潟放水路の施設と生き物

福島潟放水路は潮止堰、椋堰、浦ノ入水門を調節しながら洪水を速やかに日本海へ流します。

- ★**ゴム引布製起伏堰**  
豊栄潮止堰と椋堰はゴム製です。川幅の広いところで確実に堰の起立、倒伏を行います。しかも安く長持ち…ゴム製の袋の中には何が入っているでしょう？
- ★**川の十字路**  
川と川が平面交差しています。全国的にも稀な川の平面交差です。どうして平面交差になったのでしょうか？そして、その平面交差を支えているものは？
- ★**福島潟放水路には変わった生き物が…**  
海に生息しているはずのボラなどが釣れるという噂があります。時には鮭も泳いでいるとか…

放水路施設の見学希望の方は下記へ電話又はメールかFAXを  
 福島潟放水路管理所:新潟市北区横土居新川前2224  
 TEL:025-257-4825 FAX:025-257-4827 e-mail:2140@pref.niigata.lg.jp



雁かけ橋の親柱には、オニバスがあしらわれている。橋を渡るとビュー福島潟。



水辺には水仙などの可憐な草花が多く見られ、散歩する人たちの目を楽しませてくれる。



川の十字路付近では、ポニーが草を食む。



椋堰が、福島潟と放水路の水を分けている。水位差はおよそ1.5m。堰の前方には日本を代表する建築家が設計したという葛塚中学校が見える。

**放水路、福島潟へのアプローチ** **さくら通り** と **メタセコイア通り**  
 図書館から博物館を経て水の公園福島潟まで、約1.5km続くさくらの並木道、葛塚東部緑道はJR豊栄駅から福島潟へのアプローチ。4月中下旬は満開のさくらの下をそぞろ歩きもいいが、どうせなら放水路一周に挑めば、ダイエット効果はてき面。気分も爽快！  
 博物館からJR方面へ向かっての約1kmは、メタセコイアの美しい並木道。緑が色濃い季節はとくに美しい。「新・日本街路樹百景」にも選ばれている。